

【数学科の目標】
(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期（36）	二学期（39）	三学期（30）
【4月～5月】 1章 文字を使って説明しよう [式の計算]（16） ・1節 「式の計算」 ・2節 「文字式の利用」	【9月】 3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]（12） ・1節 「2元1次方程式と1次関数」 ・2節 「1次関数の利用」	【1月】 5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]（12） ・2節 「平行四辺形」
【5月～6月】 2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]（12） ・1節 「連立方程式とその解き方」 ・2節 「連立方程式の利用」	【10月～11月】 4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]（17） ・1節 「説明のしくみ」 ・2節 「平行線と角」 ・3節 「合同な図形」	【2月】 6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]（8） ・1節 「確率」 ・2節 「確率による説明」
【6月～7月】 3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]（8） ・1節 「1次関数」 ・2節 「1次関数の性質と調べ方」 ・3節 「2元1次方程式と1次関数」 ※1学期は、ワーク、単元テスト、 ワークテスト、定期テスト直して評価	【12月】 5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]（10） ・1節 「三角形」 ※2学期は、ワーク、単元テスト、 ワークテスト、定期テスト直して評価	【3月】 7章 データを比較して判断しよう [データの比較]（5） ・1節 「四分位範囲と箱ひげ図」 2年生のまとめ(5) 「総合問題」 ※3学期は、ワーク、単元テスト、 ワークテスト、定期テスト直して評価

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	＜知識及び技能＞ 各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・定期テスト ・小テスト ・授業観察	・計算問題などはミスなく丁寧に解くことができるようにする。 ・確かめる癖を身に付け、簡単なミスを防げるようにする。 ・授業や教科書の内容をそのまま暗記するのではなく、既習事項との関連付けができるようにする。 ・教科書の問題やワークなどの問題集を繰り返し解く。
II	＜思考力・判断力・表現力等＞ 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・定期テスト ・小テスト ・レポート ・授業観察	・教科書の問題やワークなどの問題集を繰り返し解く。 ・問題に取り組む際に、多面的な視点で問題を捉えられるようにする。 ・積極的に自分の考えを発表し、発表の際には考えの根拠を順序だてて説明できるようにする。 ・日々の学習の中で、様々な解き方で問題を解くなど、自分の考えを広げるような学習する。
III	＜主体的に学習に取り組む態度＞ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 ・授業態度、提出物の状況などの平常点など	・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 ・提出物の期限を守り、忘れ物をしないよう心掛ける。 ・自分なりの自習方法を見つけ、取り組もうとする。